

年間第3 1 主日の説教

金 大烈 神父 2010年10月31日(日)

《急いで降りて来なさい》

主の平和！。

ザアカイという人を私たちが思い出す時、その人物が強調するところがあります。それは何でしょうか。

ザアカイは、まず“傷だらけ”であり、“劣等感”そして“罪意識”を持ちながらも、「自分はこの様な生き方をしてはいけない」と思う人々を象徴しています。

ということは、自分に罪があると認めている人、自分の傷によって、色々な罪を犯した事を認める人、しかしこのような生き方はだめであることを分かっている人です。それは結局、私たちではないでしょうか。

その人々、その様な心を持っている人々を象徴するザアカイは“イエス様に会いたかった”のです。イエス様の色々なうわさを耳にして、「もしこの人に会ったら、私の人生が変わるかも知れない」、「どのような人物だろう、人々がこんなに騒いでいるのだから」と思い、行ってみたのですが、群集にさえぎられ、その上自分の背が低かった為、何とか見ようとして背伸びしても見えない。そしてザアカイは先に走って行って、イチジクの木に登ってみます。それをイエス様は見えておられたのでしょうか。何とおっしゃいましたか。ザアカイの名を呼びながら『急いで降りて来なさい』と。

毎瞬間このような呼びかけが私たちに与えられているかも知れません。皆様が‘心痛める時’、‘私はもっと素晴らしく、もっと上手く生きられたら良いのに、何故、私の生き方は変わらないのか’、‘このような生き方を終わりに出来ないのか’、‘何故、繰り返し罪を犯してしまうのか’。そのような心を持っている人々に、毎日このようにおっしゃっているかも知れません。大事な言葉は“急いで”です。『急いで！そのように余裕を持つ時ではありません』というイエス様のメッセージが隠れているのではないかと思います。

よく考えてみますと、私たちは明日の事も分かりません。もし悔い改めようとしても、その機会が奪われるかも知れません。ですから、今日の福音を読んで私たちがいつも気にしなければならないのは、イエス様は誰よりも私の心を分かって下さっているという事、そして『(ゆっくりではなく)急いで降りて来なさい。私はあなたの家に泊りたい、(他の誰でもない)あなたの家に泊まりたい』という呼びかけです。この言葉を聴く時、私たちはイエス様のみ心を推し量るべきです。

そして、それを聞いた回りの群集はつぶやいたのです。「あの人は罪人と一緒に泊まる」しかしザアカイは「財産半分を貧しい人たちに、そしてだまして取ったものがあれば4倍にして返します」と答えます。この言葉でもうひとつ私たちが思い出さなければならないのは「回心した」、「悔い改めた」、「本当にイエス様に向けて方向を変えた」と言うならば、まず行動が現れなければならないというこ

とです。振る舞いが現れるべきです。頭だけではなく「本当に私は変わりました」という証拠が自然に現れるべきです。神様に「私は全てのことを改心しました。悔い改めました」と言いながらも、現世的なものを力強く握っている姿があれば、それはまだ、“回心”という言葉の意味さえ分からない自分であることを意識してもらいたいのです。

皆様、『急いで私のところに来て欲しい』と願っていらっしゃる、そのイエス様のみ心を私のものにしましょう。

今、呼んでいらっしゃいます。その呼びかけにふさわしい反応をみせる、それが、私たちの正しい、そしてふさわしい態度ではないでしょうか。早く、急いで降りたというザアカイの反応が私たちのものになるよう願いましょう。

ありがとうございました。